

# 詩のことばと定型のことば ——定型から何を学ぶか

## 現代詩セミナー in 神戸 2010

現代詩の円熟期を迎えていた50年代から70年代とは、定型の世界が戦争時の問題を含めて戦後処理に手間取っていた隙間を突いただけではなかったか。むろんこれは乱暴な片手落ちの試問に過ぎない。

現代詩が停滞を叫ばれている今日、あえて私たちは口語自由詩としての現代詩に定型のもつ言語の可能性をぶっつけてみたい。俳人、歌人、詩人の肉声の内側で。

■討議に参加する発話者

吉増剛造、野村喜和夫、杉本真維子、樋口覚、夏石番矢、黒瀬珂瀾、宇多喜代子、藤原安紀子、荻原裕幸、岩成達也、季村敏夫、細見和之、たかとう匡子、中塚鞠子、倉橋健一、彦坂美喜子

日時

2010年

11月6日(土)午後1時～

11月7日(日)午後5時

会場

神戸女子大学教育センター

〒650-0004 神戸市中央区中山手通り2-23-1

☎078-231-1001

参加費 (特別企画展&シンポジウム参加費含む)

二日間……………5,000円

一日のみ……………3,000円

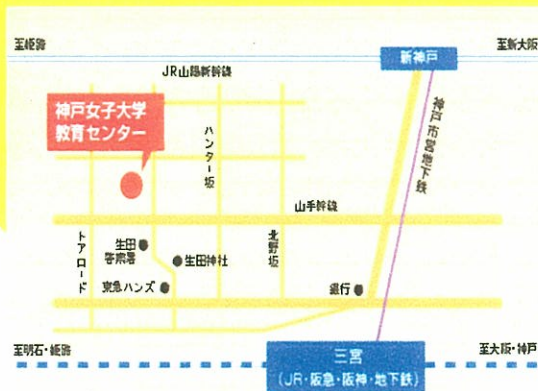
定員 100名 (定員になり次第締切)

申込締切 10月20日(水)

主催 グループ「批評と創造」

(現代詩セミナーin神戸実行委員会)

共催 神戸女子大学・思潮社



申込方法

参加費を下記口座へ振替の上、下段の申込用紙に必要事項を記入し、FAXで、下記「申込先」へお申し込みください。

なお、締切日前でも定員になり次第、受付を終了致しますので、締切間近の申し込みの場合は、主催者側までお問い合わせください。

郵便振替口座 00930-2-141996 中塚鞠子(ナカツカマリコ)

※申込締切日 10月20日(水)

【申込先】 倉橋健一 TEL・Fax 06-6834-6969 / たかとう匡子 TEL・Fax 078-732-4646  
彦坂美喜子 TEL・Fax 06-6337-0262

【FAX申込用紙】

ふりがな

氏名 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 性別 \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ e-mail \_\_\_\_\_

★セミナー参加希望日 11月6日、7日 両日参加 一日参加 (参加日 11月6日 11月7日)

★セミナー参加希望のグループ グループ A B C

★懇親会 参加 不参加

※にチェックをお入れください。

■スケジュール

◆11月6日(土)

午後1時 開会

総合司会・細見和之 於・5階特別講義室

午後1時10分～2時30分 講演・野村喜和夫「定型から遠く離れて」

午後2時40分～4時 講演・夏石番矢「究極の詩とは何か？」

午後4時10分～5時30分 シンポジウム・樋口覚、野村喜和夫、夏石番矢

\*講演の内容に即して

午後6時より 懇親と交流会 (交流会費5,000円は、当日受付にてお支払いください。)

◆11月7日(日)

午前10時 開会

午前10時10分～12時 三つのグループに分かれてシンポジウム 於・3階各小教室

\*前日の講座を引き受けるかたちで、セミナーの主テーマにそって、

パネラーの自作等を資料に具体的なディスカッションの場を作る。

グループA・・・吉増剛造、宇多喜代子、樋口覚、藤原安紀子、細見和之、彦坂美喜子(司会)

グループB・・・野村喜和夫、岩成達也、季村敏夫、荻原裕幸、中塚鞠子(司会)

グループC・・・夏石番矢、黒瀬珂瀾、杉本真維子、倉橋健一、たかとう匡子(司会)

午後12時～1時 昼食

午後1時～2時 講演・吉増剛造「沼澤地方(朔太郎)から新潟(金時鐘)へ」

午後2時20分～午後4時 詩の朗読 金時鐘ほか(コーディネート・今野和代)

閉会・・・

■宿泊先 近くに下記のホテルがあります。各自でご予約ください。

・新神戸サンホテル(Tel 078-272-1080)

・ホテルR&Bアールアントビエ(Tel 078-334-6767)